

## 日本遺族会第2ブロック会議の報告（概要）

- 1 日 時 平成28年9月26日（月）・27日（火）
- 2 場 所 セントラルホテル（幹事県：神奈川県）
- 3 出席者 1都10県 73人（うち神奈川県28人）  
東京都遺族連合会からは、宇田川会長、中山副会長、富田副会長、松丸女性副部長、事務局長・次長が参加
- 4 会議次第 開会の辞・国歌斉唱・黙禱に続いて、神奈川県遺族連合会皆川会長の挨拶、宇田川日本遺族会副会長挨拶、神奈川県知事挨拶（代理／保健福祉部長代読）、横須賀市長など来賓挨拶があり、その後に議事に入る。続いて慶弔金の贈呈、次期開催県の茨城県遺族連合会女性部長の挨拶があり、閉会。

### 5 議事内容の概要

#### (1) 日本遺族会からの情勢報告（畔上専務理事）

①水落会長の選挙、②天皇・皇后のフィリピン行幸啓、③洋上慰霊巡拝、④英霊顕彰／首相の靖国参拝、⑤処遇改善／遺骨収集促進法と指定法人、⑥九段会館の保存等、⑦青年部の結成に関する最近の情勢と取り組み状況、の説明があった。

#### (2) 統一議題

イ 遺族会の組織強化～青年部の立ち上げについて～

- 神奈川県が提出した標記の統一議題について、各都県から取り組み状況と課題を報告し、意見交換をした。
- 埼玉県が平成27年12月、茨城県が平成27年3月、群馬県高崎市が平成28年6月、長野県が平成27年11月に結成し、静岡県が平成28年3月に静岡県遺族会つつじ会規定を制定。活動実態を整えるのはこれからというところが多かった。
- 各県とも、東京都と同様に、青年部立ち上げには厳しい状況があるとの報告があり、青年部の対象者が既に一部本会に加入しており、別に青年部を立ち上げなくてもよいのではという意見もあった。
- 東京都の報告については別紙のとおりである。

#### (3) 各都県提出議題

各都県から提出された議題は、次のとおり。

イ 組織運営の充実強化と研修・情報提供の推進（東京都）

要旨は別紙のとおり。

ロ 遺児による慰霊友好親善事業について（千葉県）

未婚の戦没者は子供がいないため、遺児以外の参加もできるように配慮を。

ハ 高齢化のために役員のみならず手がなく、組織の継続をどうするか、現在妙案がな

い (千葉県)

ニ 特別弔慰金申請手続きの簡素化を (埼玉県)

ホ 戦没者の位牌を守る者に対する助成措置を (茨城県)

へ 遺族会の会員減少を食い止める方策について

(減少理由)

①組織の弱体化、遺族会意識の低下、②戦争犠牲者への感謝・崇敬・顕彰意識の希薄、③没後50年を一つの節目としている会員、④支部長独断による解散・後継支部長不在による解散、⑤高齢化により行事に協力できないために脱会、⑥核家族化による後継者不在

ト 戦没者慰霊碑等の今後の維持管理及び慰霊祭の実施運営について (静岡県)

行政主体に移行すべき。

チ 沖縄に建立されている各都県の慰霊塔の維持及び追悼式の状況をしりたい (栃木県)

リ 特別弔慰金支給要件の緩和について (神奈川県)

生計要件の削除を。

(4) 今後の財政基盤整備のため、各都県における行政からの補助等について教えてほしいとの照会があった。

各都県とも、金額の多寡はあるが、様々の名目で事業費補助があることが報告された。



# 日本遺族会第二ブロック会議



挨拶をする  
宇川時遺族会副会長

糠都遺族連合会  
からの参加者



戦没船員の碑に  
参拝